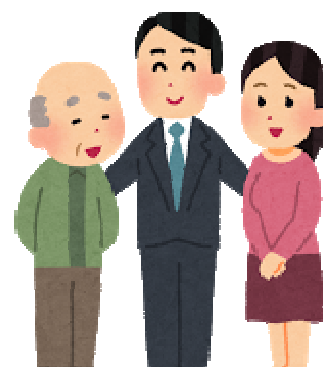


地域の暮らしをささえる医療と福祉の連携

帯山校区の実践報告



主催：熊本学園大学附属社会福祉研究所

◆シンポジスト◆

那須 久史 氏

(社会福祉士：ささえりあ帯山 センター長)

米満 美恵子 氏

(地域住民：民生委員会長)

川邊 由佳 氏

(在宅療養看取り経験者)

宮崎 久義 氏

(おびやま在宅クリニック 院長)

◆コーディネーター◆

黒木 邦弘 氏

(熊本学園大学社会福祉学部 准教授)

日時：2015年10月10日(土)

13:30~15:30(開場：12:30~)

会場：熊本学園大学 11号館6階1163教室

参加費：無料

定員：170名(先着) ※定員に達した時点で受付を締め切ります。

ポイント

熊本市の帯山校区では、福祉事業所と地域が連携した町内単位のサロンの立ち上げ、在宅で看取ることを支える医療機関によるサロンの実践など、最期まで地域に暮らし続けることを目指した先駆的な取り組みが行われています。

今回の定例研究会では、帯山校区の地道な実践の積み上げから、地域の暮らしをささえる意義を考えていきます。社会福祉士には地域のニーズをふまえた支え合い体制づくりの実践、民生委員には町内単位のサロン立ち上げの実践、医師には実践からみえてきた「在宅で看取る」という選択肢の重要性、そして単身高齢者の知人を在宅で看取った経験者から、貴重な経験談をご報告いただきます。

※申込みは9月10日(木)から受け付けます。参加を希望される方は、必ず事前の申込みをお願いいたします。申込みの際はご氏名、ご所属、連絡先をお伝え下さい。

※本学には外来用の駐車場が十分にごありません。公共の交通機関をご利用下さい。

<申し込み・問い合わせ先>

熊本学園大学 学術文化課

月~金 9:00~17:00
(12:30~13:30を除く)

〒862-8680 熊本市中央区大江二丁目5-1
電話 096-364-8729(直通)
FAX 096-366-3158(専用)
Email: shafuku@kumagaku.ac.jp